

## 【感染症ニュース】新型コロナ全国定点 5.15 (2/10-16) 全国的に減少傾向 医師「はっきりした流行を見せないまま一定の患者発生」

2/22 感染症予防接種ナビ



厚生労働省が、2025年2月21日に発表した第7週(2/10-16)の「新型コロナウイルス感染症(COVID-19)の発生状況について」によると、全国の定点当たり報告数は5.15。前週の5.82から、約13%減少しました。多くの都道府県で減少しています。現状について、感染症に詳しい医師に聞きました。

### ◆感染症に詳しい医師は…

感染症に詳しい大阪府済生会中津病院院長補佐感染管理室室長の安井良則医師は「第7週(2/10-16)の新型コロナウイルス感染症の全国定点報告数は減少となりました。流行状況は、減少傾向となっていますが、大きく減り切らないことが気になります。一

方で、今週に入り、私の勤務先でのコロナ入院は、増加しています。この冬は、流行がピークを見せるなどの、はっきりとした流行状態とならないまま、一定の患者発生が見られる状況が2月中旬まで続いています。現在の状況が、春まで続くのか、これから増減するのかについては、予測が困難です」としています。

### ◆新型コロナウイルス感染症とは？

新型コロナウイルスは感染者の口や鼻から・くしゃみ・会話のときに排出されるウイルスを含む飛沫、またはエアロゾルと呼ばれるさらに小さな水分を含んだ状態の粒子を吸入するか、感染者の目や鼻、口に直接に接触することにより感染します。一般的には1メートル以内に近接した環境において感染しますが、エアロゾルは1メートルを超えて空気中にとどまりうることから、長時間滞在しがちな、換気が不十分で混雑した室内では、感染が拡大するリスクがあることが知られています。感染すると2～7日の潜伏期間のあと、咽頭痛、鼻汁・鼻閉、咳といった上気道症状に加え、倦怠感・発熱・筋肉痛・頭痛といった全身症状が生じることが多く、その症状はインフルエンザとよく似ています。オミクロン株が主流となった現在は、嗅覚・味覚障害の症状は減少しています。軽症の場合は1週間以内に症状が軽快することが多い一方、発症から3か月を経過した時点で何らかの症状が2か月以上持続し、他の疾患による症状として説明がつかない場合には、罹患後症状(後遺症)の可能性を考える必要があります。

### ◆冬場は部屋の換気を忘れずに！

新型コロナウイルス感染症とともに、インフルエンザも流行拡大の兆しがあります。予防の一つとして、部屋の換気があります。寒くなりましたが、定期的に部屋の空気を入れ替えるよう心がけましょう。

### 引用

厚生労働省：新型コロナウイルス感染症(COVID-19)の発生状況について2025年第7週

### 取材

大阪府済生会中津病院院長補佐感染管理室室長 安井良則氏